

# 山鹿協同隊会報

No. 0

編集発行

山鹿協同隊

(中心市街地活性化基本計画  
策定ワーキンググループ)

発行日 1998.12.19

今度、『中心市街地活性化法』という法律ができました。いま、この法律に基づいて、私達ワーキンググループのメンバーは、基本計画策定のお手伝いを行なっている訳ですが、簡単にこの法律の中身を説明したいと思います。

まず、この法律ができた理由です。まもなく『大店法』という法律(2000年6月)が廃止になって、大店舗立地法が施行されます。この法律で、大型店の出店が原則自由とい形になります。もちろん、完全に自由ではなくて、今度は、「道路の渋滞が起きないか」とか、「ゴミ問題は出ないか」とかという、別の規制ができますし、「この地域には、大型店の出店はできません!」という「出店お断り」も市の方針次第で、あらかじめ指定できるようになります(都市計画法の改正による)。ただし、郊外型の店舗ばかりでいいのか、町の中心部はどうなるのかという疑問もできます。

それと、車社会の発達など様々な要因から、いろんなところで町の中心部がすたれた所が多くなりました。つまり、山鹿と同じような悩みを持つ自治体は日本中にあります。これでは、今まで、多額の資金を使って中心部にある施設や道路が無駄になるばかりか、目には見えない、歴史、文化、伝統等も維持できないのではないか、という考えから。もう一度、人々の住みやすい環境にできるよう、町の中心部を見直そうという気運から今度の法律が制定されたのです。

法律では、活性化の支援として、補助金を設けています。その数は、13省庁に及び項目は150を超えています。しかし、いままでは、

各省庁ごとにともすればバラバラとなっていた補助金を特定の箇所に絞って集中的に補助しようという考えです。つまり、「やる気のあるところには思い切ってお金を出しましょう」という考え方に基づいています。そのため、窓口も一本化されています。

ただし、すぐに補助を受けられると思うと大きな間違いです。いくつか条件があります。国の方から、各市町村の計画が本当に良いものかどうかを見極めます。そこで評価できるという判断がなされれば、お金を出してくれるかもしれないわけです。

そこで山鹿市としては、基本となる計画を作らなければなりません。これが、「策定委員会」や我々が参加している「ワーキン

ググループ」に委ねられているわけです。それだけ責任重大というわけです。ただ、この期限は、来年の3月までに限られています。短い期間ですが皆

## 中心市街地活性化法

### てなんかいた!

さん頑張りましょう。

次に、具体的な実施計画を策定する作業にはいり、策定後、TMO(タウン・マネジメント・オーガナイズーション)という機関の設置を民間、商工会議所などと市が連携しながら取り組んでいくこととなります。この機関が、基本計画に基づく実施計画で、実際に行動を行なうこととなります。

#### 「山鹿協同隊」とは

山鹿を発火点として、西南の役に参加した熊本協同隊は、自由民権運動の先駆けであり、その志にならい、山鹿の街はみずから作り上げるという思いを込めて「協同隊」を冠し、「山鹿協同隊」としました。

連絡先：山鹿市役所商工観光課 TEL43-1111

E-mail:yamaga@yamaga.org

この実施計画の内容によって、国は、基準を設けて限度額を決めます。つまり、全額補助ではない訳です。また、計画実行の組織(TMOや振興組合など)次第で補助の割合が変更されます。ここでも自己責任の原則が取り入れられています。

とにかく、「山鹿の街をどうデザインして、活気のある街にするか」、「孫、子に誇れる山鹿となるようにどうすればいいのか」、山鹿市民みんなが考えていくことができるように皆さん頑張りましょう。

## ワーキング部会だより

3回のワーキンググループ会議が行われています。

### 第1回 タウンウォッチング

山鹿のお宝探しです。写真をとりながら、山鹿の街を歩きました。

### 第2回 様々な立場からの中心市街地

観光客や女性など役割に分かれ、それぞれの立場から中心市街地のビジョンカードを作成し、それに対しての、反対意見を投票。役割からの改善案を作成し、「整備のポイント」づくりまで。

### 第3回 中心市街地活性化へのテーマづくり

温泉へ行こう、歴史に浸ろう、空地・空店で遊ぼう、まちを歩き回ろう、八千代座から発信しよう、商売を考え直そう、暮らしを自慢しよう、の7つのテーマを前回のワークショップとヒヤリングからグルーピングをし、見取り図の作成。投票と意見の結果、が他のテーマに吸収され、他の6件を分科会のテーマとして検討することになりました。

また、正式名称は、あまりに長いので、熊本協同隊よりとって、『山鹿協同隊』と呼ぶことに決まりました。

## 知っておこう 関連用語集

### TMO(タウン・マネージメント・オーガナイゼーション)とは何ですか

経営感覚をもって、総合的にまちづくりを推進する機関として、さまざまな主体と関わり合い総合的に調整を行なうところです。

これまでのまちづくりでは、商店街を活性化する組織、住環境を改善する組織、イベントづくり・名産づくりを行なう組織など、それぞれが個別の目標に取り組むというあり方がほとんどでした。

しかし、中心市街地の抱える問題が非常に複雑に絡み合っていますので、さまざまな組織との連携がなければ、なかなか活性化効果を生みませんでした。

そこで、タウン・マネージメントの発想は、共通の目標像を掲げて、官民の協力によって効果的な施策を展開することです。

## お知らせ

12/21(月) 第2回中心市街地活性化基本  
計画策定委員会(14:00 J A鹿本)

12/21(月) 意見聴取 バスターミナル通り  
振興会(19:00 中央公民館)

12/25(金) 意見聴取 高校生(14:00 同上)

11.2月 シンポジウム開催予定

### 温故知新 昔の山鹿のこと

いま、花見坂と言われているのは、もともと、火見坂(ほのみ坂)と言っていました。山鹿の人達が誤って花見坂と言うようになったため、今は、そう言われています。火見坂と言う理由は景行天皇が八頭大亀を退治された時、大亀が頭から火光出すのに、その火光が花見坂の松の枝にかかるのを見て大亀の居所を知ることができ、そのため、火見坂と言うようになったそうです。この松は往古道の南の崖上にあったそうですが、次々と植継ぎ、戦前まであったそうです。

参考

鹿郡旧語伝記  
湯の町山鹿